

<p>投稿年月日</p>	<p>令和2年1月27日</p>	<p>投稿者</p>	<p>布津中学校3年生</p>
<p>ご意見・ご提案内容</p>	<p>【南島原市活性化の提案・要望】</p> <p>①南島原市の知名度を上げるために、ベイガ船長のグッズを作って欲しい。</p> <p>②そうめんに興味を持ってもらうために、いろいろな味のそうめんをつくる（麺に味をつける）</p> <p>③空き家をリホームして安価な賃貸物件にする。物騒でもあり、何かしら役に立てたほうが良いと思う。留学生には無償で貸し出す。</p> <p>④高齢者の家に食事や薬を届けるサービスを安価で行う。高齢者世帯が増えているし、自動車で購入物に出かけるのは大変である。市のサービスとして行えば、見守りにもなるし、市の収入にもなる。</p> <p>⑤展望台をつくる。布津町から望む景色はすばらしく、観光客にも景色を楽しんでもらいたい。</p> <p>⑥誰でも南島原市の文化について学べる機会を今以上に増やして欲しい。南島原市民が世界遺産などについてもっと知る必要があると思う。</p> <p>⑦道路にアートをつくる。（布津町の海岸沿いの旧道のように）市に関係のあるアートがあれば、通りかかった人が見て明るいイメージを持ってくれる。また、遠くから見に来る人もいるかもしれない。</p> <p>⑧国道など交通量が多い場所に、出来るだけ歩道をつくってほしい。通学するときに自動車との感覚がすれすれで危ないときがあるため。</p> <p>⑨廃校をきれいに整備して、公共のスポーツ施設にしたり、歴史や特産物の資料館にする。施設の有効活用ができ、使用料を徴収すれば市の財源にもなる。また、若い世代は市のことをよく知らないなので、身近なところで学べたら良いと思う。</p> <p>⑩子供向けの広報誌を発行してほしい。市の行政については知らないことが多い。広報誌には知らない言葉が多くて理解しづらい。将来南島原市に戻って来たいが、市の財政や市政がどうなっていて、これからどうなっていくのかが分からなかったら戻ることも難しい。今は親が税金を払っているけど、自分が税金を払う身となれば、それがどのように使われているのか、また問題のある使われ方をされる心配はないのかななどを詳しく知りたい。</p>		
<p>回答</p>	<p>この度は、南島原市活性化のご提案・ご要望、ありがとうございます。</p> <p>本市の将来を担う中学生の皆さんの考えや意識の高さを知ることができ、大変、心強く思います。</p> <p>今回いただきましたご提案に対して、次のとおり回答いたします。</p>		

①【地域づくり課】

ベイガ船長のグッズについてですが、今年度の予算で「ぬいぐるみ」と「ジッパーケース」を制作しており、来年度以降販売開始の予定となっております。同時に、新たに「小（こ）ベイガ船長」として小さい着ぐるみも制作し一層のPRに努めています。また既に平成29年よりコミュニケーションアプリ LINE（ライン）にて、ベイガ船長のスタンプを販売しております。

②【商工振興課】

島原手延そうめんは、一般的な白いそうめん以外にも、梅・ごま・わかめ・海苔・茶・イカ墨など様々な素材が練りこまれたそうめんが既に作られています。

「島原手延そうめん」について興味をもっていただくための方法として本市では、これまでと違い常識を打ち破ったミュージックビデオ風の島原手延そうめんPR動画を今年度制作しています。

いつの間にか口ずさんでしまう音楽と映像は必見ですので、ぜひ一度見ていただき、体育祭等においてぜひ踊っていただくとともに、お知り合いの方にご紹介いただけると幸いです。

<PR動画についてはこちらを参照してください>

<https://mymen.minamishimabara-somen.jp/>

<「島原手延素麺」についてはこちらを参照してください>

<http://minamishimabara-somen.jp/>

③【地域づくり課】

本市では、空き家の持主と移住を希望する人との橋渡しをする「空き家バンク制度」を運用しています。この制度に登録している物件については、空き家の持主でも、移住を希望する人でも使うことができる空き家改修補助金を準備しております。

また、「留学生には無償貸し出す」とのご意見について、空き家の活用方法の一つとして、今後の検討の参考にさせていただきます。

④【福祉課】

南島原市は、皆さんもご存じのように少子高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しています。そのような中で、市では高齢者の皆様が住み慣れた地域で安心、安全な暮らしができるよう様々な福祉サービスを実施しています。

今回皆さんから提案いただいた高齢者へ食事を届ける「配食サービス」についても市で実施していましたが、利用者が減少したことなどもあり、昨年度に廃止しました。なお、最近では、お店やコンビニエンスストアなどの民間事業者が高齢者宅にお弁当などを配達するサービスが増えていますので問い合わせがある場合は、民間事業者を紹介しています。

また、高齢者の見守りについては、コンビニエンスストアや郵便局、九州電力など25事業者と「高齢者等見守り体制連絡協定書」を結び、地域における見守り体制を推進しています。

誰もが歳を取るにしたがって日常生活への不安が増してきます。そのような高齢者の不安を少しでも解消できるよう、皆さんの提案を参考にしながら取り組みを進めてまいります。

⑤【観光振興課】

布津町では、こんぴら公園に展望台が整備されており、問合せがあった場合、案内をしているところです。その他、南島原市内では、加津佐町の花房展望所、口之津町の瀬詰崎公園、北有馬町の夕日の丘、有家町の俵石展望所、深江町のみずなし本陣ふかえと砂防みらい館に展望台が整備されており、来訪者を案内しているところです。

⑥【生涯学習課】

教育委員会でも南島原市の歴史や文化について学ぶ機会は大切だと考えています。生涯学習課では、市民の皆さんに親しまれる芸術・文化への意識と理解を高め、魅力ある文化の創造・発展、地域の活性化を図ることを目的に、講演会、講座等を多数開催しております。今後も各地区での学びの場を提供していきたいと思っております。

世界遺産推進室では、世界遺産の価値を知ってもらうために、本年度から中学生に世界遺産授業を実施しています。また、一般の市民の方にも、『市政出前講座』で世界遺産のメニューを受けられるようにしていますが、これらをさらに充実させていけるようにしていきます。

⑦【建設課・生涯学習課】

道路にアートを作ることにつきましては、イメージとしては、市道海岸通り諏訪線（たちばなこども園付近）の消波ブロックに描かれているアートと思われませんが、アート作成については、行政側だけではなく地域住民と一体となり、町の景観や自然環境を崩すことがないように、管理する関係部署とアートの表示が可能かを協議する必要があります。

一般的にさまざまな方が利用される公共物にアートをつくるには、地域の皆さんをはじめ、老若男女のさまざまな世代の方がアートとして認められ、風光明媚な町の景観や自然環境を崩すことなく後世に残していくためには、行政側だけでは対応できない多くの課題が出てくるかと思われます。いただいたご意見は、今後の参考にさせていただきます。

⑧【建設課】

通行の安全を確保するため、国道など交通量が多い場所については、歩道の整備は必要であると認識しています。国道にかかる歩道の整備には、まず、長崎県の事業として採択する必要があります。また、用地状況・事業効果・長崎県の財政状況など採択の要件があるため、整備については、長崎県と協議しながら進めていくことになります。

現在の整備状況については、国道251号（布津新田）、県道雲仙深江線（深江中江・畦津）及び市道町上野頭線（深江大野木場）の歩道整備を行っています。今後も安全対策として、国及び県と一体となり、歩道の整備を進めていきます。

⑨【財政課】

かつて、その地域に住んでいる人々が通った小学校は、その地域の学びや交流の中心でした。しかし、少子高齢化に伴って全国的に人口減少が進み、子どもの数が減ったことで、これまでのような教育環境を維持することが困難になってきています。

このような状況の中、南島原市は、人口減少社会に対応し教育環境の維持・充実を図っていくために小学校の統合を進め、その結果、布津小学校第一分校、第二分校をはじめ、市内で多くの小学校が廃校となりました。

今後これらの廃校をどうしていくかは市の重要なテーマであり、市役所でも以前から検討を進めてきました。

ご提案いただいたように、廃校を公共のスポーツ施設や資料館、又は市のことを身近に学べるような場として再整備し、再び地域の中心として機能させることで、地域の活性化や住民の結びつきに効果が期待できます。

また、施設の維持・管理に必要な費用を捻出しなければなりませんので、利用者から料金を徴収することは極めて重要です。

しかしながら、施設を再整備して使うためには、その目的に応じた多額の改修費用をはじめ、例えば資料館であれば、集客を図るためのPRや交通アクセスの改善といった、施設活用に伴う関連費用も必要となります。また、廃校の敷地が他の人から借りた土地であったり、建物が老朽化して改修が難しかったりなど、課題を抱える施設も少なくありません。

市役所では、このような課題を施設ごとに抽出・検証し、地域の方々の意見や費用対効果を踏まえながら、廃校の有効活用の方策として何があるのか、慎重に検討しているところです。

これまでの検討・活用により、地域の集いの場として利用されているもの、災害時の物資を備蓄する倉庫として利用されているもの、民間業者に貸して料金をもらっているものなど、その地域の状況や特性に応じて利用している施設があります。一方で、いまだに活用できていない施設も数カ所あります。

今回、布津中学校の皆さんからご提案いただいた内容についても、市民の意見の1つとして参考にさせていただきたいと思います。

なお、身近なところで学ぶという点で言えば、皆さんの家族など周りの大人に話を聞くこともできますし、地域や身の回りの物、出来事などに興味を持ち、それぞれの視点で調べることも大切なことだと思います。まちの出来事であれば市の広報紙、歴史であれば図書館で町史などの文献を読んでもみるのも良いかもしれません。インターネットで検索してみても面白いと思います。しかし、私たちのまちには“身近に市のことを学ぶ”ことができる場所や機会が少ないことも事実ですので、これについては今後の市政運営にも参考とさせていただきます。

⑩【総務秘書課・財政課】

広報紙については、日ごろから中学生にも分かるような表現や文字を使用して、できるだけ分かりやすい広報紙の作成に心掛けているところですが、掲載内容次第ではどうしても難しい言葉が出てきてしまうことがあります。子ども向けの広報紙を別に作成することは、費用面などから難しいものがありますが、今後もできるだけ分かりやすい広報紙作成に努めていきたいと思います。なお、市の予算や決算について、市議会事務局発行の議会だよりで家庭の家計簿に例えて掲載していますので、回答と一緒に該当箇所をお送りしますのでご覧ください。

市の財政状況については、合併当初の南島原市の財政状況はあまり良くなかったことから、財政の健全化に取り組んできました。その結果、人件費や借金を削減し、貯金が増加するなど一定の効果が出ており、財政状況は改善しているところです。

しかし、人口減少や高齢化などにより、市税が大幅に増える見込みはなく、

地方交付税や国・県の補助金、借金などの財源に依存する構造は変わらない状況です。

本市の将来像である「これからも 住み続けたい 住んでみたいまち」を実現するため、無駄遣いをせず、市長や副市長と話し合いながら、人口減少への対応、市民の安全・安心な暮らしの確保や子育て支援など、必要な事業に予算をつけています。

【参考】

	平成17年度末	平成30年度末
市の貯金	49億4,000万円	193億2,700万円
市の借金	387億700万円	213億2,400万円

担当課

—